

Course number		U-LAS70 10001 SJ50			
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：薬と医療 ILAS Seminar :Pharmaceuticals and Medicine		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Pharmaceutical Sciences Associate Professor,SHIRAKAWA HISASHI Graduate School of Pharmaceutical Sciences Associate Professor,TAKAHASHI YUUKI Graduate School of Pharmaceutical Sciences Senior Lecturer,TOMOKO KITA	
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences		Number of credits	2	Number of weekly time blocks 1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2025・First semester		Quota (Freshman) 10 (10)
Target year	1st year students	Eligible students	For all majors		Days and periods Mon.5
Classroom	(Faculty of Medicine/Pharmaceutical Science Campus/University Hospital Campus)			Language of instruction	Japanese
Keyword	薬物の作用メカニズム / 医薬品開発 / 最先端医療 / 個別化医療				
[Overview and purpose of the course]					
体の中での薬の動き、作用を理解し、医療における薬物治療の役割について考える。					
[Course objectives]					
薬の動きとその制御、働きについて理解し、医療における薬物治療の役割、有効性を理解する。また、SGD (small group discussion) を経験することで、課題に対して自主的に取り組む能力を養う。					
[Course schedule and contents)]					
<p>薬は体の中を動き、標的部位に到達し、そこで生体の分子と相互作用することによって効果を発揮する。本ILASセミナーでは、実際の医療現場で使われるくすりについて、自らがそれを開発する立場から、また自分が患者として使う立場から薬の動きとその制御、働きについて理解し、医療における薬物治療の役割、有効性について考える。授業は少人数のグループを単位にしたSGD (small group discussion) の演習形式で進め、各テーマ毎に発表会を実施し、学生同士で意見交換をしながら薬に関する理解を深める。授業計画は下記の通りである。</p> <p>(1) イントロダクション【1回】：白川 授業の進め方と準備・発表の方法を周知するとともに、医療の現状、くすりの役割、医薬品開発について概説する。</p> <p>(2) 神経疾患/神経免疫疾患の予防と治療【4回】：白川 超高齢社会・ストレス社会で問題となっている神経疾患/神経免疫疾患を取り上げ、現在の治療薬の作用メカニズムを踏まえた上で、将来的な予防や治療の戦略について討議する。</p> <p>(3) 薬の体内動態とその制御【4回】：高橋 体外から投与された薬が体内に入るまで、そして入ってから消えるまでの動き、すなわち体内動態を取り上げ、これについて概説したのち、それを制御する方法とその戦略について討議する。</p> <p>(4) 薬物療法の個別化【4回】：喜多 薬の有効性・安全性の個人差について概説し、個別化療法の戦略について討議する。</p> <p>(5) まとめ【1回】：喜多 全体を通じて学んだことを総括する。</p> <p>(6) フィードバック【1回】：高橋</p>					
Continue to ILASセミナー：薬と医療(2)					

ILASセミナー：薬と医療(2)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

平常点評価(コメントシートの提出、出席の状況等)(50点)、ゼミでの学習姿勢(10点)、プロダクト(40点)により評価する。

平常点評価(出席の状況30%、コメントシートの提出20%、授業中に課される課題40%)(90点)、ゼミでの学習姿勢(10点)により評価する。各項目の詳細は初回授業で説明する。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

授業後は復習を行うこと。口頭発表に備えて事前にテーマを決めて、自主的に資料を収集しまとめること。その他授業外学習については、各テーマの第一回の授業中に担当教員から指示する。

[Other information (office hours, etc.)]

特定の予備知識は必要としない。化学や生物の素養も要求しない。薬に興味のある積極的な学生の受講を希望する。

オフィスアワー実施の有無はKULASISで確認すること。

[Essential courses]